

vol. 154

発行日 令和4年10月1日
発行 社会福祉法人 天竜厚生会
発行者 山本 たつ子
編集 総務部 総務課

あかまつ



Focus 1 しんぽら
夏の遊びデー
(P.5)



Focus 2

魅力あふれる
デイサービス
センター
(P.7)



Akamatsu
vol. 154
2022.10.1

Contents

目次	1
社会福祉法人の使命	2
夜空を彩る 天竜厚生会納涼花火大会	3
リニューアルスタートしました！ 天竜厚生会 カルチャー教室	4
施設の活動紹介	5
魅力あふれる デイサービスセンター 第1弾	7
子育て部門職員 春季研修をおこなって	9
実践報告会(勉強会)について	10
委託事業を通じた地域の企業紹介 ～地域の素材を生かした物づくり～	10
留学生・特定技能外国人を紹介します！	11
苦情受付の公表について(定期報告)	12
善意の皆さま	13
新卒2023卒 福祉・介護の“クリエイター”募集中！	裏表紙



【あかまつ編集後記】

日頃より機関誌あかまつをご愛読いただきありがとうございます。

今回のあかまつ154号より、皆様にもっと楽しんで見ていただけるよう、表紙だけではなく全てのページをカラーへと変更致しました。写真を多く使用しておりますので、是非最後までご覧ください。

今回は、当法人の魅力溢れるデイサービスセンターを4事業所ご紹介させていただいております(P.7)。個々の事業所の特色を活かし、これからも地域の皆さまから愛される事業所を目指して取り組んで参ります。今回ご紹介できなかったデイサービスセンターについては、次回155号にてお伝えさせていただきますので、お楽しみに！！

広報委員





社会福祉法人の使命

常務理事

伊藤 栄

新型コロナウイルス感染症変異株の派生が続き、変化に即応する支援体制と職員体制を構築していかなければならない中で、労務される現場職員の皆様のご尽力に深く感謝いたします。また、ご家族の皆様方におかれましては面会・外泊・外出等を制限せざるを得ない状況につきましても、多大なるご理解とご協力を頂き、重ねてお礼申し上げます。

また、法人事業の継続を力強く支援して頂いております医療・保健機関、行政の皆様方をはじめ、生活支援関係事業者の皆様方の多大なるご指導とご協力に深く感謝申し上げます。まだまだ収束時期が見えない不安、いつ感染が拡大するののかという不安は常にありますが、今後とも職員一丸となりご利用者の安心・安全に努めて参ります。

世界情勢の不安定化も加わり、本年4月の消費者物価は2%上昇したとのことです。インフラ維持に係る経費や食料品等生活必需品の物価上昇の打撃は、低所得層や高齢者層がより受けやすくなるものと思われまます。ある調査では、令和3年において、個人年収が減ったとの回答は26.1%にも昇り、賃金が伸びない中での負担感と生活不安は常態化するのではと懸念しています。同時期に公表された「報酬1億円超役員が過去最多285社・656人」との調査結果の報に触れるにつけ、経済の不安定さ、資産格差の拡大が及ぼす低所得者層への影響等を鑑みるに違和感と不安感がぬぐい切れません。

このような状況下においては特に「社会福祉法人」の社会的使命とは何か、何を行い、何を行わなくてよいのかを再確認し全職員が共有化した上で、事業を進展させていかなければならないと思料します。

当法人が実施・推進していく社会福祉法に規定されるすべての事業について、あるいは自主事業について常に生活困窮者支援・低所得者支援の考えが根底に貫かれた事業でなければならぬと考えます。相談系・訪問系・通所系・短期入所系・入所系等、全ての事業およびそれに関わる全ての職員がそのことを認識して業務にあたる必要があります。

例えば、今の利用料金体系で運営する特別養護老

人ホームは、国民年金満額受給者の費用負担に適合しているのか、についても国が示す料金設定には甚だ疑問を感じます。基本サービス費・食費・居住費を合わせれば従来型多床室であっても年金受給額を遥かに超えてしまう設定になっています。収入に応じた社会福祉法人軽減制度はありますが、利用年数が長期間になる場合については、費用の負担感をご家族においても多いのではないのでしょうか。低所得者にも配慮される運営加算システムの構築が必要であると思います。また、改築時においては従来型多床室での改築は減価償却面を考えると、ユニット型よりも収益がかなり低いと、建設コストを低く設定しても必然的に係る費用率が高くなり、健全経営に影響を及ぼすリスクも高くなる構造となっています。このことを踏まえたとしても、当法人の特別養護老人ホーム改築にあたっては、福祉事業を総合的に運営するメリットを勘案し、低額であっても良質なサービスを提供する従来型による改築を重視していかなければならないものと考えます。

障がい児者や乳幼児保育・教育の分野においても、生活困窮者支援への視点は重視しなければなりません。特に相談系の事業が進展すればする程、様々なニーズが掘り起こされ、それに対する具体的なサービス・支援体制を構築していく必要性が生じてきます。法人内の一事業所では対応できない場合は、法人内他事業所と連携し、また単独法人内では対応できない量的・機能的ニーズについては、他法人・関係機関と密接に連携して支援に直結させることの重要性を強く思います。

社会福祉法により求められる社会福祉法人としての本旨を推進することは、当法人の基本的な理念である「困っている人を支援する」「絶対に断らない」という姿勢に直結しています。この姿勢を今後とも堅持していくことにより「社会福祉法人」の存在意義・有用性が更に高まると共に、職員の福祉事業への理解や「やり甲斐」を醸成していくものと思われまます。

今の時代に合ったニーズに的確に答えていくことこそ社会福祉法人の使命であると考えます。

夜空を彩る 天竜厚生会納涼花火大会

福祉サービス課
ソーシャルワーカー
中川 瞭子



夏恒例の天竜厚生会納涼花火大会は、ご利用者及び地域の方々に感謝の意を込めて実施しております。新型コロナウイルス感染症の影響により様々な行事が実施できない中、少しでもご利用者の皆様に楽しんでいただければと思い、感染予防を講じた上で、7月22日(金)に開催しました。

昨年度同様、密を避けるため、大勢の人が集まらないように配慮し、各施設からご覧いただきました。

約30分間、打ち上げ花火210発とスターメイン2発の花火が夜空を彩りました。ご利用者の頭上で大きく開く花火の光と、空に響きわたる迫力ある音に歓声や拍手が湧き上がりました。また、打ち上げ花火の前には各施設で手持ち花火や吹上花火を実施し、皆さんとても楽しまれていました。

今年度は一般の方の来場はご遠慮頂きましたが、早く新型コロナウイルス感染症が終息し、通常開催できることを祈っております。



▲吹上花火の様子(厚生寮)

たくさんの
吹上花火
とても綺麗でした



▲打ち上げ場所近くより



▲手持ち花火の様子(厚生寮)

手持ち花火
楽しみました



▲手持ち花火の様子(百々山)



▲施設周辺のゴミ拾いの様子

花火大会翌日には、静岡県立浜北西高等学校の柔道部の皆さんがゴミ拾いのボランティアに来て下さいました。学生さんのおかげでとても綺麗になりました。ありがとうございました！

リニューアルスタートしました！ 天竜厚生会 カルチャー教室

福祉サービス課
主任 ケアワーカー
木田 敦子



天竜厚生会研修センターでは、ご利用者の余暇時間充実に役立てて頂くことを目的に、第3土曜日に「カルチャー教室」を開催しています。昨年は新型コロナウイルス感染予防のため、長らく続いていたカルチャー教室を中止していましたが、この度感染対策も行い、内容も新たに再スタートする運びとなりました。

内容は書道や手芸に加えて、ボードゲームや健康ウォークラリー、eスポーツなど月によって様々です。

6月は書道教室を行い、各施設からたくさんの方が

集まりました！地域ボランティアの方や静岡県立浜北西高等学校の学生ボランティアの方もお迎えし、参加者は机に半紙を広げて書道を楽しみました。

新型コロナウイルス感染症の収束への見通しが立たない中ではありますが、やりたいことを当たり前に行える充実した時間を提供するために、少しでもカルチャー教室が役に立てるよう工夫を続けていきたいと思っております。



モルックや
ゲームを
企画しています！



カルチャー教室の活動内容

日程	内容(予定場所)
6/18(土)	書道(研修センター)
8/20(土)	ボードゲーム(研修センター)
9/17(土)	健康ウォークラリー(研修センター)
11/19(土)	モルック(グラウンド)
12/17(土)	eスポーツ(研修センター)
1/21(土)	ポッチャ(研修センター)
2/18(土)	ボードゲーム・手芸(研修センター)
3/18(土)	障がい者スポーツ(グラウンド)

※感染症の拡大状況に応じて、必要時は予定を変更しながら実施していきます。

ボランティアのご協力
ありがとうございました。



一緒に活動
してみませんか？
皆様のボランティアを
お待ちしております！！

お問い合わせ先

社会福祉法人天竜厚生会 福祉サービス課
☎053-583-1123

みんな元気、みんなの笑顔

施設の

子育てセンターしんぱら

しんぱら夏の遊びデー

園庭では水を使った遊びが盛り上がっています。水や砂、泥など夏ならではの素材に触れ、じっくり、ダイナミックに楽しんでいます。今年のテーマ「やってみよう」のもと、友だちと誘い合い、アイデアを出し協力し合っています。時には意見がぶつかることもありますが、最後には笑顔が溢れています。

この日は、園庭での遊びの後に、5月に散歩で摘んだ野イチゴとぞう組(5歳児)が作った梅シロップを使ったかき氷屋さんが登場しました。たくさん遊んだ後のかき氷は最高に美味しく、子どもたちは大喜びでした。自然に触れることは情緒の安定に繋がり、感性を高めます。今後も多くの自然に触れる機会を作り、子どもたちと楽しみます。

泥んこって
きもちいいね



みんな、
手伝って～

かき氷、
おいしいよ!!



子育てセンターみなみしま

七夕の日

おばあちゃんたちが
つくってくれた
かざり
すてきだね。

毎年七夕の時期には地域の方から「笹を取りにおいで」「飾りを作ったよ」と声を掛けていただき、立派な笹や素敵な七夕飾りを提供いただいています。そこに子どもたちが自分で折ったり、切ったり、色付けをしたりした七夕飾りも一緒に飾り付けました。「ささのはさらさら～♪」と子どもたちの歌声も聞こえ、園内はすっかり七夕の雰囲気になりました。地域の方のご協力もあり、今年も子どもたちは楽しく素敵な七夕の日を過ごす事ができました。

地域の皆様の温かさに触れ、子どもたちの思いやりや感謝の気持ちが育まれている事を感じます。今後も地域の皆様の力をお借りしながら、心を動かす経験を大切にしていきたいと思います。



おおきな、おおきな
おいもにな～れ



七夕以外にも、
さつま芋のつるさしな
どの体験をさせて
いただいています。

活動紹介

体験して発見の毎日！

赤松寮

第36回グリーンマラソン

コロナに負けず、
一生懸命
頑張りました!!!



走り切ったご利用者の
満足気な表情が
とても印象的でした

天竜厚生会敷地内において、第36回グリーンマラソン大会が他施設と合同により開催されました。100メートル車いす(手動型)、100メートル車いす(電動型)、400メートル男子、400メートル女子、800メートル男女の計5種目を行いました。ご利用者の皆さまには、熱中症予防の観点から、マスクを外して競技に参加いただきました。ご利用者や職員のたくさんの声援のもと、走り切ったご利用者からは、達成感に満ち溢れた表情がみられました。



浜北学苑

ミニ運動会

パン食い競争は、
ご利用者にとっても
好評でした



玉入れ・
ボール送りを
2チームに分かれて、
行いました!



新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、様々な行事が中止となる中、浜北学苑では「ミニ運動会」を開催しました。当日は、玉入れ・ボール送り・パン食い競争の3つの競技を行いました。普段から野外で行う行事は少なく、ご利用者の新しい一面を見ることができました。ご利用者からは「パン食い競争楽しかった!」「来年もまたやりたい!」と好評で、職員も達成感がありました。

今後も、体を動かしながら、楽しんでもらえるような行事を開催していきたいと思っております。

魅力あふれる

デイサービスセンター

第1弾

当法人には
通所介護事業所が9か所、
通所リハビリテーション事業所が
1か所あります。
事業所の特色を活かしながら、
日々ご利用者の笑顔や満足のため
支援にあたっています!!



さやの家 デイサービスセンター



ソーシャルワーカー(所長)
藤原 愛美



【趣味活動】
月に1回フラワーアレンジメントを
行っています。皆さんのセンスが
光っています!!



【レクリエーション】
楽しめるだけでなく脳トレやちょっとした
リハビリにもなるよう工夫しており、
好評です!!どんなレクリエーションか
は当日のお楽しみです。



【壁画制作】
毎月壁画を作成し、フロアと入り口に
掲示しています。



橙(だいだい)



ドクダミ

【イベント入浴】
毎月取り入れており、ご利用者にも協
力していただきネットに葉や果物を入れ
てお風呂に浮かべ香り等を楽しんでい
ただいています。

やまびこ デイサービスセンター



ソーシャルワーカー
鈴木 陽介



【世代間交流】
併設されている子育てセンターやまびことの交流を行っています。以前は、
おやつ時に園児にお茶出しをしてもらい、毎日交流がありました。現在は、
園児に中庭でダンスや歌の発表をしてもらっており、できる範囲での交流を
しています。中庭で園児が遊んでいる際にお互いに手を振ったり、挨拶を交わ
している光景にほっこりします。



【趣味活動】
生け花、書道など楽しみ
ながら行っています!!



【クッキング】
月に1度、おやつと一緒に盛り
付けたり、作ったりしています。
写真は五平餅を皆さんの前で
焼き、焼き立てを召し上がって
いただきました。毎月季節にち
なんだものや楽しめるものを計
画しています!!



しらいと デイサービスセンター



ソーシャルワーカー(所長)
大崎 孝

【趣味活動】

将棋・花札が流行中!!同世代の方とゲームを一緒にすることで、気の合う仲間になりご利用者同士で楽しんでいます。「負けて悔しい!!」という前向きな発言も聞かれ、男性だけでなく女性も大活躍!皆さん真剣勝負です。



【しらいと作品展】

活動で取り組んだ塗り絵を展示し、最優秀賞・特別賞受賞者には賞状授与があります。他ご利用者の作品を見ることで向上心が上がり、「やってみようかな?」という意欲向上にもつながっています。



【笑顔になれるデイサービスセンター】ご利用者が楽しく安心して過ごせることをコンセプトにしています!広い敷地のロータリーで季節のお花を眺めながら歌やお話を楽しんでいます。

【自慢の畑】

昨年度拡張工事を行った畑で今年度はトウモロコシの苗作り・苗植え、じゃが芋の種付けを行いました。ご利用者の見守り中、上井出保育園児を招いてじゃが芋堀体験を行いました。園児・ご利用者共に素敵な「笑顔」が見られました!



くま デイサービスセンター



ソーシャルワーカー(所長)
栗島 克枝



【出張販売】

一人暮らしや、外出に困難を感じている方でも買い物は楽しみの1つです。買う楽しみや選ぶ楽しみなど、買い物には色々な要素があり、「次はいつ来るの?」と聞かれることもあります。



【昼食づくり】

週2回、ご利用者と一緒に昼食を作っています!!地元の特産品(五平餅)をメニューに取り入れています。



【園芸活動】

今年はきゅうり、エンドウ、インゲン、トマト、サトイモ、青シソが元気に育っています。送迎車を降りて野菜の成長を確かめるなど、野菜の成長をご利用時に見るのも楽しみの1つです!!



【野菜の先生】

ご利用者が隣接する熊小学校の生徒たちに、野菜作りの知恵や工夫を伝えています。「野菜を見て何をしてほしいか聞いてあげてね。」と教科書では教えてくれないことも長年野菜作りに携わってきた方だからこそ話せる話をしています。



子育て部門職員 春季研修をおこなって

子育てセンターなかぜ
園長

本間 規子



令和4年5月21日(土)に、子育て部門職員春季研修を行いました。例年、子育て部門の職員500余名が一堂に会し、研修を実施していましたが、この2年間は新型コロナウイルス感染症のため、中止またはオンラインでの開催を余儀なくされていました。春季研修は理事長から当法人の動向や福祉に携わる職員としての心構えなどを聴く貴重な機会であり、外部講師の講演を子育て部門の全職員が受けられる唯一の機会です。教育・保育理念「感性豊かで生きる力をそなえた子どもを育てるために」の実現のためにも、また部署間・職員間の横のつながりを強め、相互の理解や連携を法人の強みとして今後活かしていくためにも必要な研修として長年続けられてきました。

そこで令和4年度は集合型で開催できないかと、研修部会で検討を重ね、会場を参加人数の3倍ほどが収容できる浜松市北区にあるサーラ音楽ホールに決定しました。しかし、大型連休明けということもあり、直前まで感染拡大の不安が拭えず、大規模の3園は自園でのオンライン参加という苦渋の決断をし、その他18部署は感染対策を万全に施した会場での参加として当日を迎えました。

理事長からの講話は地域社会の中での福祉職として

園の在り方を今一度振りかえり、意識を高める機会となりました。職員からは「社会の変化やニーズ、地域の課題などを解決していくためにも、園としての役割がますます大切になってくることを感じ、職員として自分が何をすべきか考えさせられました。」「地域の子育てを支援することも園の大切な役割と知り、園の事業に携わっていることに誇りを感じました。」などの感想が聞かれました。幼児教育・保育の専門性を高め、そのスキルを様々な場面で社会貢献につなげ、ご利用者やご家族、地域のニーズに応えるべく、法人職員として意思の統一をすることができました。

全体講演には東京大学教授 遠藤利彦氏を外部講師としてお招きしました。『乳幼児期におけるアタッチメントと非認知的な心の発達』という演題でご講演頂き、子どもの育ちの原点でもある愛着について学びを深めることができました。乳幼児期に安心できる避難地があることが“自己信頼”の土台となり、そこから“他者信頼”の心が生まれ、自己と社会性の発達が非認知能力に繋がっていくという講演内容は、今年度の職員研修の目的である“子どもの心の理解”に通じる内容で、今後の教育・保育の実践につながる意義深い研修となりました。

初めて集合型の春季研修に参加した職員は、会場の雰囲気や講師の先生の思いを直に感じ、新鮮さと集合型で受講する意義を感じたようでした。

午後は“特色ある7つの活動”にあわせた分科会を計画していましたが、こちらも感染予防のため園ごとにこの1年間の活動をより充実させていけるよう計画し、学びを深めていきました。

各園での研修や話し合いの内容は、今後それぞれの園で実践されていきます。

乳幼児期は人生の土台となる大切な時期です。子どもたちの成長・発達を見守り促す中で研修の成果を活かしてまいりたいと思います。



▲午前の部、理事長講話(サーラ音楽ホールにて)

実践報告会(勉強会)について

入所支援課
ソーシャルワーカー
岩堀 初音



今年度、知的障がい者施設にて強度行動障がいのあるご利用者に対する支援を積極的に推進していくための取り組みとして、「実践報告会」を行っています。実践報告会の流れは、①実践に向けた勉強会(6月)、②実践中間報告(10月)、③最終報告(2月)となります。



▲実践に向けた勉強会の様子



▲デモンストレーションの様子

令和4年6月24日に第1回実践報告会(勉強会)を開催し、各施設から22名が参加しました。赤石寮施設長より、「自閉症とは何か」という基礎的な内容や、「構造化」などの有効的な支援方法について、実践に向けた具体的な講義を受け、実際に、「理解」や「スキル」に関するアセスメントのデモンストレーションを行ったり、構造化支援の様子を映像で見たりしながら支援への理解を深めました。

強度行動障がいのあるご利用者に対する支援は、生活のしづらさを解消するために取り組むべき支援です。それぞれのご利用者に適した支援を職員が実践し、ご利用者が安心して日常生活を送ることができるよう努めていきます。

委託事業を通じた地域の企業紹介 ～地域の素材を生かした物づくり～

地域福祉課
ソーシャルワーカー
村松 唯菜



静岡県から委託を受けている「ふじのくに型学びの心育成支援事業」は、令和4年度で受託から6年目を迎え、「静岡県生活困窮者等就労準備支援事業」は5年目を迎えました。両事業にご協力いただいている企業を一つご紹介します。

革細工体験の講師として、浜松市天竜区の二俣クローバー通り商店街にありますSpiral(スパイラル)の福澤郁子様にご協力いただきました。Spiralは、主にジーンズ等を販売する衣料店として営業しています。また、浜松で染織したデニム生地や、天竜地域で食用や害獣駆除で排出される鹿や猪などの生皮を再利用し、地域の素材を生かした製品作りをしています。両事業のプログラムの一つとして、その皮革を使用した革細工体験を行いました。革細工体験では、「物作り体験を通して、手作りの楽しさや達成感を味わい、自己肯定感を高めること」や、「環境や命の尊さについて考えるきっかけづくり」を目的にしています。



▲Spiralの福澤郁子様

皮革には、野生動物のため鉄砲の穴や傷がついていることがあります。それも個性としての魅力の一つと言えます。素材が持つ個性を見つけ、自分が気に入った皮革で作成した革細工は世界に一つだけの作品となります。物作り体験を通して、両事業の参加者が物作りの楽しさを実感し、職業選択について考えるきっかけになっていることを期待しています。

最後に、当法人の受託する両事業にご理解とご協力いただいております関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。

Spiralさんおすすめ商品をご紹介します!!



表面に天竜の鹿革や猪革を使用した
ミニウォレット
東京のレザーブランドOPUS(オーパス)
とのコラボ商品

Spiralオリジナルの
靴用クリーム
左:天竜の鹿脂、蜜蝋、ヒノキ精油を配合
右:天竜の猪脂、蜜蝋、クロモジ精油を配合

営業時間 11:00~19:00 (定休日:木曜日)
静岡県浜松市天竜区二俣町二俣1385 ☎0539-25-6001

留学生・特定技能外国人を紹介します!

2022年5月に留学生2名、9月に特定技能外国人1名が新たに仲間に加わりました。留学生は、現在日本語を学びながら、特別養護老人ホームしんぱらの家で週28時間のアルバイトをしています。一方、特定技能外国人は介護老人保健施設さいわいで正規職員として勤務しています。まだまだ慣れない環境の中でも一生懸命頑張っている3名を紹介します。

留学生



ナン ローさん(左)
[出身地] ミャンマー

- 趣味** サイクリング、スポーツ、ホラー映画 (日本の映画怖い(ノド)。。)
- 好きな食べ物** きゅうり、スイカ、じゃがいも
- 好きな日本語** 優しい
- 日本でしてみたいこと** スカイツリーに行ってみたい!
- なぜ日本に来たか** 日本人の働き方を体験したい。日本の介護技術を勉強したい。
- なぜ介護の仕事をしたか** 祖母の世話をしたが、あまりできなかったから。



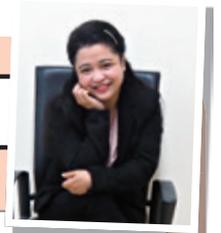
マイ ジン マー トウンさん(右)
[出身地] ミャンマー



- 趣味** 旅行、映画鑑賞 (タイの映画が好きです)
- 好きな食べ物** カレー、きゅうり、ジャガイモ ※まだ好きな日本食には出会ってないようです。。。
- 好きな日本語** おやすみなさい☆彗
- 日本でしてみたいこと** 富士山とスキー場に行ってみたい!
- なぜ日本に来たか** 日本の介護技術を学びたい。
- なぜ介護の仕事をしたか** 高齢者が長生きできるよう、将来はミャンマーで介護施設を創りたい。

特定技能

フォーメロサ カレン ケイト タバフンダさん [出身地] フィリピン



- 趣味** 映画鑑賞
- 好きな食べ物** ラーメン、天ぷら、餃子
- 好きな日本語** お疲れさま
- 日本でしてみたいこと** 富士山を見たい、ディズニーランドに行きたい。
- なぜ日本に来たか** 子供のころからの夢
- なぜ介護の仕事をしたか** フィリピンで看護師の勉強をしたから、活かす仕事に就きたかった。

苦情受付の公表について(定期報告)

原則として、令和4年4月～令和4年7月までに、当法人にいただいた苦情等は次のとおりです。
貴重なご意見ありがとうございました。

◆受付件数 ○法人全体：99件（うち公表可69件）

◆主なサービス種別ごとの受付代表事例

障がい者関係事業 30件（うち公表可21件）

施設名 厚生寮 是正日 令和4年6月6日

件名 職員の対応について

ご意見/ご要望の内容 居室にてご利用者から「職員にガス抜きや摘便などの際に『このような医療行為が多くなると当該施設をでていけないといけないかもしれない』と言われたことやコールをした際も『今押されても…(困るというニュアンス)』と言われた。最近できないことが増えてきて不安になってきている。コールしても対応できないこともあることはわかっているが押すのを迷ってしまう」と話があった。

対応内容 当該ケアワーカーと面談を実施し、どのような説明をしたか確認を行いました。ご利用者へは「ケアワーカーでは看護師のような医療行為ができない」と伝えておりましたが、ご利用者とその説明を受けて、出ていけないといけないと受け止めたと考えられます。是正としてご利用者が不安な気持ちになるような表情や態度をとらないようにすることや当該ご利用者が快適な生活を維持していくための改善策を多職種で検討し、当該ご利用者に対しても支援内容を丁寧に提案いたします。またコールについては遠慮なく押ししてほしいことをお伝えし、職員には押すことをためらうような態度をとらないよう周知いたしました。当該ご利用者に施設を急に出ていくことはないことを説明し、ご了承いただきました。

高齢者関係事業 26件（うち公表可20件）

施設名 しらいと 是正日 令和4年5月30日

件名 当日の夕方に他事業所へ移動するよう話があった件について

ご意見/ご要望の内容 ご家族より、「担当のケアマネジャーから連絡があり、事前の連絡がなく、当日の17時頃に事業所を移るよう話があった。急な連絡であり、常識がないだろう。たらいまわしにするのか。」と電話があった。

対応内容 ご家族には施設として今すぐ対応できなくなったと誤って伝わっており、来所された際に、「安全を考慮すると、事業所の移動も1つの方法であると考えていた」旨を説明しました。当該ご利用者は見守りの手薄な時間の転倒リスクが高いことから以前利用していた事業所へ移動することを検討しておりました。担当ソーシャルワーカーからその旨をケアマネジャーに伝え、ケアマネジャーが早急に移動が必要だと誤解したことやご利用者の相談に関して担当ソーシャルワーカーはご家族よりケアマネジャーに相談する機会が多く、ご家族に、施設の意向が正しく伝わらなかったことが原因です。是正としてケアマネジャーへ施設の意向を伝える際は5W1Hを確実に報告することや家族との連絡を密に行うことを心がけることで再発防止に努めます。

地域福祉関係事業 27件（うち公表可20件）

施設名 掛川市東部地域包括支援センター 是正日 令和4年5月24日

件名 ケアマネジャーが話を聞いてくれないことについて

ご意見/ご要望の内容 申立者より、「担当ケアマネジャーが話を聞いてくれない。夫はパーキンソン病であるのに、意向の確認を電話で済ますのはどうかと思う。」と電話があった。

対応内容 担当ケアマネジャーが訪問し、話を聞く予定を立てており、訪問の日程調整はメールで行っていました。しかし申立者からのメールが迷惑メールフォルダに入り、それを見落としていました。今後は、メールや電話等の非対面のやり取りでは、互いの感情の行き違いが発生するため、基本的には対面での対応してまいります。申立者へ謝罪し、今後の対応について説明いたしました。

子育て関係事業 8件（うち公表可2件）

施設名 天竜厚生会ちやるか 是正日 令和4年6月8日

件名 朝の送迎忘れについて

ご意見/ご要望の内容 申立者より、「自宅で待っているが送迎が来ない。」と電話があった。

対応内容 職員2人で業務日誌や送迎表の確認をしていましたが、日付を勘違いしておりその後の確認も不十分であったため、出発前には業務日誌と送迎表の基本事項(日付、利用児童)の確認を徹底し、送迎中には児童名を声に出しての確認や最終のチェックを行うことといたしました。また、送迎に携わらない職員についても利用人数を意識して受け入れや送り出しを行います。申立者へ謝罪のうえ送迎が遅れる際には必ず連絡することをお伝えし、ご了承いただきました。

受け付けた苦情等は、記載した事例の他にも、以下の天竜厚生会ホームページに掲載しております。

★URL：<https://www.tenryu-kohseikai.or.jp/koukai/complaints/list/>



【お問い合わせ】
監査指導部 監査指導課
TEL:053-583-1424

善意の皆さま

ご 寄 付

ありがとうございます

◎ご厚意に沿うべく、大切に活用させていただきます。

- 浜名
[6月]
小澤 逸子様
- [7月]
原田 安弘様

- 天竜厚生会城北の家
吉田 たい子様
- さやの家
掛川市赤十字奉仕団様
- しらいと
青山 秀子様
笠井 喜美子様
桐部 敬子様
佐野 孔彦様

ご 寄 贈

ありがとうございます

◎ご厚意に沿うべく、大切に活用させていただきます。

- 浜名
[5月]
岩本 弘様
- [6月]
遠州開発(株)浜松カントリークラブ様
- 天竜ワークキャンパス
[7月]
(株)森修焼様

- くまダイサービスセンター
熊幼稚園様
ひでちゃん様

地域福祉課

- 地域福祉課
藤澤 安浩様
静岡県立天竜高等学校 ボランティア部様

子育て支援課

- 子育てセンターすぎのこ
西村 晴子様
小倉 啓子様
宮地 武夫様
お話の会様
- 子育てセンターやまびこ
島 全良様
森下 薫様
小倉 啓子様
酒井 まち子様
お話の会様
- 子育てセンターこまつ
北嶋 史雄様
- 子育てセンターきぶね
速水様
西村 晴子様

ボ ラ ン テ ィ ア

◎貴重なお時間を頂き
ありがとうございました。

施設サービス課

- 浜名
野口 めぐみ様
老川 裕美様
岡村 哲司様
- 翠松苑
大野 博志様
赤佐6区花の会様
長崎 邦子様
戸田 さかゑ様
- しんぱらの家
有谷 まり子様

- 子育てセンターしばもと
更生保護女性の会様
鶴田 則子様
市川 良子様
鈴木 テル子様
- 子育てセンターしんぱら
ひらまつファーム様
折金 早苗様
足立 香代様
竹内 博之様
長崎 邦子様
田坂 満恵様
木下 和明様
鈴木 静代様
- 子育てセンターなかぜ
坂口 智香様
渥美 京子様
渡瀬 和子様
保護者ボランティア様
- 子育てセンターかきのみ
太田 礼子様
内山 啓子様
大橋 正和様
JAとぴあ浜松 中瀬支店様
全国社会福祉協議会 大城 正利様
橋本 啓一様
- 子育てセンターみゆうのおか
榊原 安宏様
橋本 啓一様
お話の会様
- 子育てセンターさやのもり
梅田 昭好様
橋口 平様
佐藤 文子様
桜木デイサービスききょう様
おはなしのたね掛川様
- 子育てセンターひだまり
伊藤 義典様
岡田 喜久雄様
河村 行雄様
杉谷南地区様
成瀬 光宏様
藤田 静雄様
落合 賢次様
鈴木 金雄様
- 鈴木 富雄・陽子様
櫻井 節子様
- 子育てセンターとものもり
中村 一雄様
平尾 紘様
おはなしのたね 平野 直子様
- 子育てセンターみなみしま
鈴木 美帆様
- 子育てセンターとみがおか
井口 君夫様
えほんを楽しむ会様
鈴木 忠男様
馬淵 富美子様
静岡産業大学様
- 子育てセンターにじいろ
鈴木 ふみ子様
大庭 功様
鈴木 彰宜様
佐藤 省二様
山本 加代子様
山下 玲央奈様
鈴木 那奈様
- すずかけっこ保育園
おはなしのたね掛川様
後藤 富位様
鈴木 由郎様
- なぎさ保育園
本興寺(玉葉院)様
石田 正明・たづ子様
静岡県子ども読書アドバイザー 青島 智深様
河辺 勝彦様
柴田農園様
すこやかファーム様
人形劇「どんぐり」様
小野田時計店様
- やまびこ児童クラブ
島 全良様

福祉サービス課

- 福祉サービス課
静岡県立浜北西高等学校様

新卒2023卒 福祉・介護の“クリエイター” 募集中!



総合職



介護職



保育職

福祉・介護の仕事は...

IMAGINATION & CREATIVE

イマジネーション (想像) クリエイティブ (創造・工夫)



詳細は、マイナビ、リクナビをご覧ください!

2024卒

1day 仕事体験も実施中!

少しの興味があればOK!
参加してどんな仕事をしているのかぜひ体験してみてください!!



中途採用も随時実施しています!HPを要チェック!

お問い合わせ

天竜厚生会 総務課 採用担当 TEL:053-583-1115

天竜厚生会

検索

